

# 「ものづくりの根拠地」視察

## 前澤工業 日水協・青木理事長を招待



鑄造の工程などを視察

じっくりとご覧いただければ」と呼びかけ、訪問を歓迎した。

同製造所は、同社におけるバルブ・ゲート製品の生産拠点。研究開発、設計、鑄造、機械加工、組立、検査・試験、塗装、梱包・出荷まで一貫して行っている。視察では、一連の生産工程を見学。このうち鑄造では、電気炉で成分調整し、溶けた鉄を容器に移し、鑄型に注ぎ込む注湯の様子などを見て回った。

圧試験機、自動搬送機のほか、クレーンの上げ下げ時に消費する電力の約30%を回収できる設備等の紹介を受けた。

懇談では参加者から、効率化や今後のリノベーションへの考え方、出湯・注湯時の工夫点などについて質問が挙がり、手塚常務取締役が応答した。脱炭素など環境負荷低減に向けた取組みが話題となった中では、同社が同製造所、本社、社員寮で東京電力エナジーパートナーの「グリーンベ

「かなり丁寧に製造されていることがよく分かった」と講評。「きめ細かく多品種の製品を作り、事業に貢献いただいている」と所感を述べた。その上で、「水道は多くの

課題を抱えている。前澤工業の皆さまと手を携えながら、これからもしっかりと守っていきたい」と呼びかけ、同社への感謝の言葉で締めくくった。

前澤工業は2日、同社埼玉製造所に日本水道協会の青木秀幸理事長を招待。青木理事長は同製造所の概略に関する説明を受けた後、所内を視察した。視察後は、同社の宮川多正代表取締役社長、手塚正三常務取締役と懇

談。視察および懇談には2025ミス日本「水の天使」高坂実優さんも参加した。

冒頭、宮川社長がいさつ。同製造所を「ものづくりの根拠地」と表現し、「職人技が随所に息づく工場となっている。

また、効率的な生産の実現を目指して同社が同製造所で推進しているリノベーション計画のうち、第1期リノベーションとして11月10日に竣工式を執り行った2号棟も見学。新たに設置された太陽光パネルやバルブ水

最後に青木理事長は、

2025年（令和7年）12月25日  
日本水道新聞 第6034号